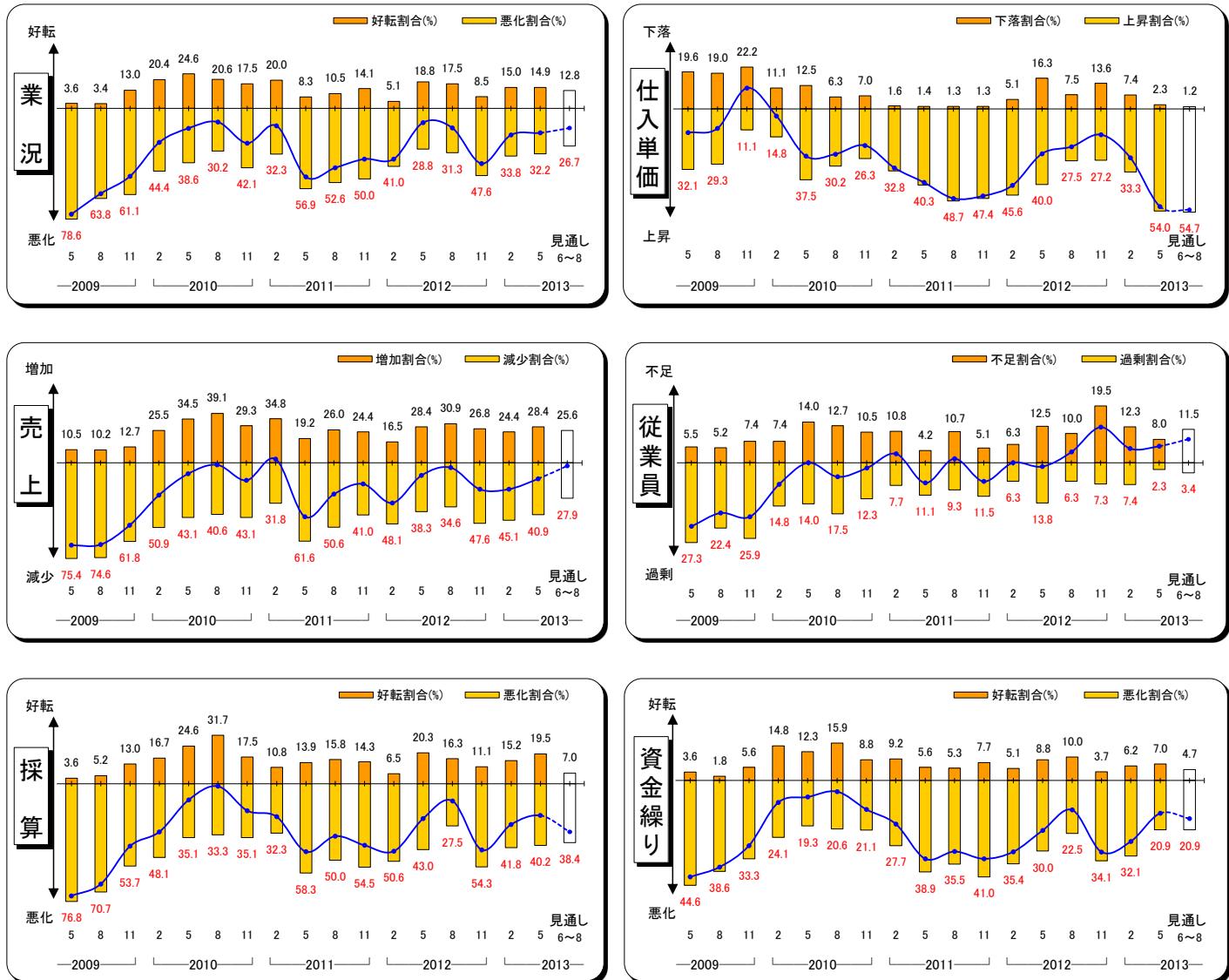


【製造業】①



【製造業】②

企業の声（順不同）

動植物油脂製造業	円安により、原料高の影響が大きい。
めん類製造業	円安による小麦価格の上昇により売上高減少の見込み。
木製家具製造業	我々零細企業がアベノミクスの恩恵を受けるのは、まだまだ先のことのようです。逆に金利が上って新規融資や借り換えもままならない状況です。
オフセット印刷業	円安による原材料仕入額の上昇が、先行き利益幅の減少に影響するであろうと思われる。当然資金繰りにも影響し、社内の経費削減も一段と求められている。
オフセット印刷業	売上・利益率の好転が見込めない中で、人件費を含めた経費をギリギリまで削減し、何とか回転している状況です。
オフセット印刷業	印刷物の激減により業績が悪化している。
オフセット印刷業	仕事の量の減少により、同業他社との価格競争激化による収益の低下が問題となっております。仕事量が増え、我社の様な弱小企業にも仕事を回していただければ助かります。
オフセット印刷業	業種の転換を模索中です。
印刷業	当社は自動車関連の売上が7割位を占めていて、最近の円安・株高でメーカー各社については良いニュースを聞くが、下請にはコストダウンの要請があり、円安の影響で仕入材の価格上昇と厳しい状況が続き、受注競争もあり先行きは見通せない。帳簿上では昨年同期に比べて若干のプラスとなっていても、運転資金の工面に苦慮している。
生コンクリート製造業	特需による出荷により、上期は売上の増加が期待される。しかし、原材料費の値上げ等により採算性の悪化が懸念される。
コンクリート製品製造業	年度末に仕事量が増加せず、そのまま4月、5月も横ばいで推移をしております。アベノミクスに期待する業界の人（仲間）がいる一方で、「これから2、3ヶ月の経過をみなければなんとも言えない」と近頃の総会で話題となりました。
鉄鋼業	売上の好調も続かず、半年後の当社の景況感は見えない。
建設用金属製品製造業	震災復興事業として少しお手伝いが出来るのでは、と期待していましたが、当社で実施する業務に関してはまだ先のようです。従って現実は毎日が厳しい状態です。
ポンプ・同装置製造業	売上が増加するも、諸材料仕入単価上昇の為、利益は減少傾向。
はん用機械器具製造業	設備投資に対する引合いが活発化してきた感がある。今秋辺りからの好転に期待。
生産用機械・同部分品製造業	現在の景況は悪くないが、新年度に入り仕事量が減少している。本格的な回復は秋以降か。
生産用機械・同部分品製造業	アベノミクスの効果が反映されるのはいつのことか？
機械器具製造業	今後の新規水景施設の受注回復は見込めず。新規事業の開拓目指す。
理化学機械器具製造業	電機業界（デジタル家電、半導体、液晶）の構造的な不況により厳しい状況が続いている。円安の効果か、引き合いおよび受注が僅かに増加傾向にあるが、先行きは不透明である。
理化学機械器具製造業	環境関連設備投資に関わる引き合いが増加傾向にある。
電子管製造業	デフレ脱却は期待しているが、すべて円安先行においての輸出メリットが大きな比重を占める事に違和感を持つ。当然の事だが、円安の影響で輸入部品の価格が20%近く上昇している。その分価格転嫁することができず、問題である。
電子管製造業	まだまだ我々にはアベノミクスの効果なし!!
集積回路製造業	円安の為、仕入単価は上がって利益率は悪いものの、ユーザーである大手メーカーが少し上向きになって来た傾向があり、開発研究所が動き出して来たことは事実である。生産が忙しくなるのは秋頃かと期待している。
看板・標識機製造業	景気回復は限定的で、前向きな投資までは行かない。この状況での消費税の増税で現状維持できるのか不安。